

令和7年度 中高連携教育文化講演会

10月9日（水）午後、神河町立神河中学校3年生（71名）と本校生徒を対象に、中高連携教育文化講演会を実施しました。

今年は、株式会社D研究所 代表取締役 加賀屋 克美氏を講師にお招きし、「働くことの喜びはディズニーランドから教わった」と題し、講演していただきました。

加賀屋氏がディズニーで勤務された経験をもとに、「お客様を大切にする」ために、どのような言葉や行動で表現されていたのか、当たり前のことをしっかり行うことの重要性を学ぶことができました。そして、1985年8月12日 日航機123便墜落事故で犠牲となった方の中には、ディズニーの帰りの方もいらっしゃり、「またディズニーに来ようね」という思いが叶わなかった方がいることに対し、今でもディズニーで取り組んでおられることなど、生徒にわかりやすく、心に響く内容でした。

他にも加賀屋氏が日本とアメリカで働いた違いや、困りごとをどのように解決したか、夢を実現させるにはどうすべきか、あきらめず継続することの大切さなど、90分という時間があっという間に過ぎてしまいました。

お客様を思う気持ちは、コミュニケーション力につながり、他者を思う気持ちを育むいい機会になると感じました。最後に、参加した生徒たちからもたくさんの質問がありました。この講演会で学んだことを、日々の生活の中で実践してくれることを期待しています。



あきらめず、ストロー
をじゃがいもに貫通さ
せようとする生徒



生徒の感想より

2年1組 藤原颯亮さん

「働くことの喜びはディズニーランドで教わった」というテーマで大事なものは、挨拶・安全・礼儀正しくする・ショー・効率です。

1985年の墜落事故で学んだことを活かして何十年も働いてこられました。とてもすごいなと思い、最後までお話を聞きました。僕もこれからの学校生活、卒業後の進路に向けて、加賀屋さんのお言葉を思い出して歩んでいきたいです。